

委員から頂戴したコメント

報告書	分類	コメント	委員名
海洋	全体	<p>コメント</p> <p>本事業は原子力施設周辺海域の漁場を対象とした放射能影響調査であり、その主要な目的は十分に果たしているものと判断できる。本事業は、我が国の原子力政策上必要な事業であると思われるので今後も実施されていくことを望む。</p>	<p>皆川委員 【(独)水産総合研究センター】</p>
		<p>コメント</p> <p>調査海域としては、妥当と思われる。ただし、青森県で現在計画中の大間原子力発電所は平成24年操業予定であることから、今後適当な時期に調査海域として加えていく必要があるだろう。海域としては、青森県下北半島むつ湾口側から北海道渡島半島南岸域（もしくは津軽海峡南北側海域）が適切と思われる。</p>	<p>皆川委員 【(独)水産総合研究センター】</p>
		<p>コメント</p> <p>本事業の調査対象試料としては、海産生物では各海域のコマーシャルベースの魚種を選定していること、漁場環境の汚染状況を反映する海水・海底土については適切な地点を設定していることから、いずれも適切であると思われる。</p>	<p>皆川委員 【(独)水産総合研究センター】</p>
		<p>コメント</p> <p>原子力施設周辺域では、関係諸団体との調査事業も実施されているが、それらとの棲み分けの配慮もなされていると思われる。</p>	<p>皆川委員 【(独)水産総合研究センター】</p>
		<p>コメント</p> <p>全体コメント</p> <p>原子力発電所および核燃料サイクル施設において、周辺海域に汚染がないことを確認し続けているものである。そういった目的において、十分に低いレベルの放射能を計測しており、目</p>	<p>津旨委員 【(財)電力中央研究所】</p>

	<p>的を達している。</p> <p>国民の理解の増進という観点で、より分かりやすい表現を検討してはどうか。</p> <p>例えば、原子力発電所および核燃料サイクル施設の排水の影響の及ばない海域の調査結果を比較することは興味深い。</p> <p>または、低レベルの放射能は大気圏核実験とチェルノブイリ事故によるもので、原子力発電所および核燃料サイクル施設からの影響はないことを明示するために、可能なサイトについては、運開前後で変化がないことなどを盛り込む必要はないか？</p> <p>さらに、このような低レベルの放射能が人間の健康に影響を及ぼさないことを示すことは可能か？</p>	
	<p>コメント</p> <p>時間変動の観測は極めて重要である。このような変動は一般に指数関数で減少するので、濃度軸を対数で示すのが適切である。(NDは図では示すのは適切ではない。NDはゼロではない。) 比較の基準は物理的半減期、次に海水の濃度変化、さらに魚類等になる。変動に付いて核種間の差の議論も必要である。)</p>	<p>廣瀬委員 【気象研究所】</p>
<p>海産生物</p>	<p>質問</p> <p>P4 1-1-1 海生生物試料3行目： の「生活期間が長い」の目安はどの程度の期間ですか？ その際、当該漁場は、原子力施設地先海域なのか、もっと広い海域をさすのかも教えてください。</p>	<p>成田委員 【(株)ペスコ】</p>
	<p>コメント</p> <p>P11 表4、P12 表5：表中の有効数字の記載の整合性を図る意味からは、 ND～0.06 ND～0.06 (の桁間に表示したほうが良い) 0.038～0.08 0.038～0.08 ND～0.06 ND～0.06</p>	<p>成田委員 【(株)ペスコ】</p>

	<p>コメント 詳細コメント P. 11 1-3 1-3-1</p> <p>Sr-90が生物の骨に蓄積されやすいということを追記すべき。</p>	<p>津旨委員 【(財)電力中央研究所】</p>
	<p>コメント</p> <p>環境の放射線影響が議論されている。その中でreference生物の概念がある。魚類等については、多くの研究成果が蓄積されているので、それに答えられる内容の成果を出して欲しい。</p>	<p>廣瀬委員 【気象研究所】</p>
海水	<p>質問</p> <p>P13 1-3-3 海水試料 (P73からP103 平成17年度 発電所等海域 海水試料の放射性核種濃度): 下層海水の水深の選定の考え方を教えてください。下層海水は、沈降性の核種が蓄積する底質の影響を受けて、表層水と核種によっては、放射性物質濃度が変化するので、その影響を見るという理由は分かりますが、500~1000mと深い海域では、漁獲との関係で、そのくらいの深度を対象とした、漁獲対象となる海産生物がいるのですか?</p> <p>放射能分析の対象となる漁獲対象の海産生物が生息する層の海水を採取したほうが良いと思いますが? (なお、海底土は、蓄積傾向を見る上で、その海域の水深が深ければ、深くても別の意義があると思います)(簡潔にまとめた形で標記)</p>	<p>成田委員 【(株)ペスコ】</p>
	<p>コメント 詳細コメント P.13 1-3-3</p> <p>下層水の定義が必要。後述の表を見ると30mから1000m程度となっている。これらの水深を"下層水"でまとめてよいか?</p>	<p>津旨委員 【(財)電力中央研究所】</p>
	<p>コメント</p> <p>海水の濃度については、海域間の差、海域内部でも分布が見られるかどうかについて議論が</p>	<p>廣瀬委員 【気象研究所】</p>

	<p>必要である。表面水に比べて深層水でばらつきが大きい原因は何か。堆積物についても海域差が大きいように見受けられる。その原因に付いても説明が必要である。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>コメント P14 1-4まとめ P11～14までの結果を見ると、最高値でほとんどの試料及び核種で過去5年の最高値を上回っております。 まとめの中で、“過去5年の測定値と同程度であった”としていますが、少し減少傾向といった意味の記述を加えた方がいいのでは無いかと思いますかどうか。</p>	<p>橋本委員 【茨城県環境監視センター】</p>